

報道関係者と民博との懇談会

話題一覧

2024年7月18日(木)15:30~17:00

懇談会

1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長) —

2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 山中 由里子 (議長) —

3. みんなの創設 50 周年記念特別展「吟遊詩人の世界」

[詳しくはこちら](#)

各地を広範囲に移動し、詩歌を語り、世界を異化する吟遊詩人は古代から各地に存在しさまざまな役割を担ってきました。本特別展ではアジア、アフリカの吟遊詩人のパフォーマンスやそれらを成立させる物質文化を紹介します。同時に吟遊詩人を支え育んできた地域社会の息吹を伝えます。

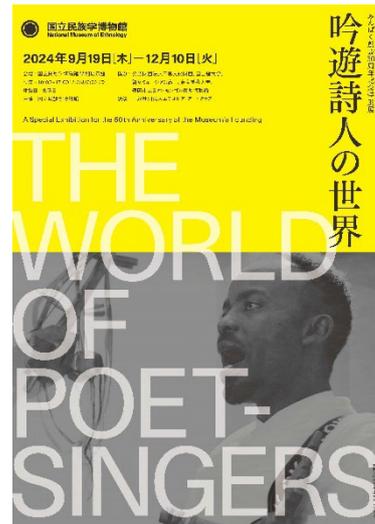
会 期：2024年9月19日(木)～12月10日(火)

会 場：特別展示館

観覧料：一般 880 円、大学生 450 円、高校生以下無料

※観覧料割引についてはホームページでご確認ください

※本館展示もご覧いただけます



— 川瀬 慈 (学術資源研究開発センター 教授) —

4. みんなの創設 50 周年記念企画展

「客家と日本——華僑華人がつむぐ、もうひとつの東アジア関係史」

[詳しくはこちら](#)

華僑華人の一派に客家と呼ばれる人びとがいます。客家は、世界各地に居住し、政治・経済・文化など各方面で成功を収めてきたため、「東洋のユダヤ人」と呼ばれることもあります。19世紀後半以降、客家は日本と密接な関係を築きあげてきました。特に1895年に日本が台湾を植民地とすると、台湾の客家にとって日本は身近な存在になります。また、一部の客家は台湾などから日本へ移住し、団体をつくり、生活を営んでいます。客家と日本の関係に焦点を当てることで、これまであまり知られることのなかった東アジア関係史の一面を探ります。

会 期：2024年9月5日(木)～12月3日(火)

会 場：本館企画展示場

観覧料：一般 580 円、大学生 250 円、高校生以下無料

※観覧料割引についてはホームページでご確認ください

※本館展示もご覧いただけます



1930年代の台湾における客家の夫婦

— 奈良 雅史 (学術資源研究開発センター 准教授) —

企画展関連 みんぱく映画会『一八九五』

[詳しくはこちら](#)

日本による植民地化が始まる 1895 年の台湾を舞台に、客家をはじめとする台湾住民が日本軍に抵抗した状況が、当時軍医として現地に滞在していた若き文豪・森鴎外の視点で語られていきます。

日時 2024年9月8日(日)13時30分～16時15分(13時開場)
会場 みんぱくインテリジェントホール(講堂)(定員350名)
参加費 要展示観覧券(一般580円)※イベント参加費は不要
解説 河合洋尚(東京都立大学 准教授)
司会 奈良雅史(本館 准教授)
※事前申込制(本人を含む2名まで)、先着順
※一般受付/8月5日(月)～9月4日(水)16時



— 奈良 雅史 (学術資源研究開発センター 准教授) —

5. みんぱく創設50周年記念研究公演

「アリラン峠の向こうには——在日コリアン音楽のこれから」

[詳しくはこちら](#)

在日コリアンの苦難の象徴であるアリラン峠の先には、どのような「希望」がみえるのでしょうか。2014年の研究公演で共演した3組の音楽家たちが再びみんぱくにつどいます。日本、大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国のはざままで彼らが紡ぎだしてきた音楽をとおして、在日コリアン音楽のこれからをみつめます。

日時: 2024年8月25日(日)14時～16時30分(13時30分開場)
会場: みんぱくインテリジェントホール(講堂)(定員400名)
参加費: 要展示観覧券(一般580円)※イベント参加費は不要
演奏: 李政美、安聖民、河栄守、金栄実、梁聖晞ほか
解説: 高正子(大阪コリアタウン歴史資料館 館長)
司会: 福岡正太(本館 教授)
主催: 国立民族学博物館
※一般受付/7月22日(月)～8月21日(水)16時

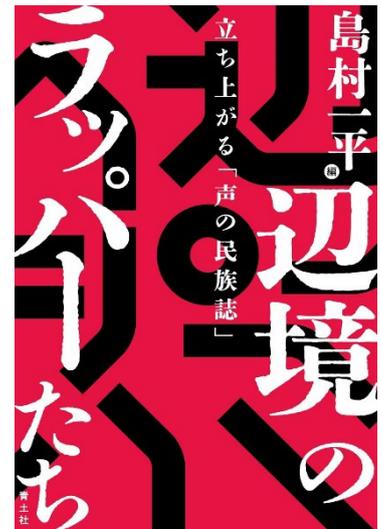


— 福岡 正太 (人類文明誌研究部 教授、副館長) —

『辺境のラッパーたち：立ち上がる「声の民族誌」』

島村一平（編）、ダースレイダーほか（著）

ラッパーのことばに耳をすませば、世界のリアルが見えてくる。戦火が絶えないガザやウクライナで、弾圧が続くチベットやイランで、格差にあえぐモンゴルやインドで、海の端の日本で——。アメリカで生まれたヒップホップ文化、なかでもラップミュージックは世界に広がり、「辺境」に生きる者たちは声なき声をリリックに託す。現代社会の歪みを鮮やかに映し出す、世界各地のラッパーたちの声を幅広い執筆陣が紹介します。ラッパー・ダースレイダー、ハンガー（GAGLE）のインタビューも収録。



ダースレイダー（和田礼）

吉田正樹事務所ラッパー、作家、評論家、映画監督

研究部／研究部門

人類文明誌研究部 特別客員教授

就任日 令和6年4月1日～

研究課題 辺境・日本におけるヒップホップの特殊性と普遍性に関する研究

— 島村 一平（人類文明誌研究部 教授） —

— ダースレイダー（人類文明誌研究部 特別客員教授） —

※その他の配布資料

【館外開催】「ユニバーサル・ミュージアム—さわる！“触”の大博覧会」直方巡回展 2024

【館外開催】巡回展「国立アイヌ民族博物館第9回特別展示『驚異と怪異—想像界の生きものたち』」